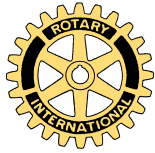


THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日
12:30 ~ 13:30
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL <0566>22-2111
FAX <0566>25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 岡本 巧
幹事 神野 公秀
会報委員長 兵藤 文男

2009 ~ 2010年度 国際ロータリー John Kenny (ジョン・ケニー) 会長テーマ

The Future Of Rotary Is In Your Hands ロータリーの未来はあなたの手に
(この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。)

第2677回例会プログラム

[当年度=37回目; 当月=5週目]

2010年(平成22年) 5月31日(月)

1. 例会……………〈司会:プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
12:30 2. 点鐘……………〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……………手に手つないで
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 小堤西池のカキツバタを守る会へ支援金贈呈
……………前会長 仁科 幸次 様
9. 次年度ガバナー補佐挨拶
……………^{おさき}尾崎 ^{りゅうじ}隆爾 様
10. 幹事報告
11. 出席報告
12. 委員会報告
13. ニコニコボックス報告
14. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(6/7) ……
卓話 「かんたんにできるメタボ改善運動」
講師 株式会社ユタカファーマシー
管理栄養士 ^{きのした}木下 ^{ひろみ}裕美様
(紹介者 南 健会員)
- (6/14) ……クラブ協議会
次年度委員会別事業計画の検討

2. クラブフォーラム……………〈環境保全委員会〉

- 13:00 卓話 「ホテルのとびかう人里づくり」
講師 地区環境保全委員会
委員 ^{たかはし}高橋 ^{とよひこ}豊彦 様 (豊橋 RC)
(紹介者 井元 良彦 会員)

15. 謝辞
16. 点鐘……………〈会長〉
17. 閉会宣言

13:30 18. 散会

ビ ジ タ ー

村井 心 様 (岡崎 RC)
尾崎 隆爾 様 (次年度ガバナー補佐・西尾 RC)
岩瀬 正範 様 (/ 分区幹事・西尾 RC)

小堤西池のカキツバタを守る会へ支援金贈呈



仁科 幸次 様

次年度ガバナー補佐挨拶



尾崎 隆爾 様

出席

会員総数 93名 出席免除 24名
出席義務者+免除者の内例会出席者 88名
欠席 12名 出席率 86.36%
前々回(5/17)の修正出席率 100%

会長報告

- 1) 5月27日、刈谷市高齢者福祉センターにて開催された、刈谷市社会福祉協議会理事会に出席してまいりました。

幹事報告

- 1) 次週6月第1例会より、クールビズとさせていただきますので、よろしくごお願い致します。
- 2) 本日例会終了後、第12回の理事会を開催致します。関係の皆様のご出席をよろしくごお願い致します。

会長あいさつ

岡本 巧



愛知県は、全国一の工業県であると同時に、全国有数の農業県です。

身近な所で、様々な農産物が生産されています。全国一位の物では、田原・豊橋を中心にキャベツ、豊橋・豊川・田原を中心に大葉、東海・知多・南知多・稲沢を中心にふき、安城・碧南・常滑・豊川・東海を中心にいちじく、田原・豊川を中心に菊、田原・豊川・豊橋・西尾・一色・吉良を中心にばら、田原・豊橋・岡崎・西尾・南知多・安城を中心に観葉植物、西尾・豊橋・東海・南知多・田原・安城を中心に洋ラン、豊橋・田原・常滑を中心にうずらの卵があり農業産出額は、平成19年では全国5位となっています。

また、県土の4割を森林が占め、木材・木製品の出荷額は全国一です。

さらに、伊勢湾・三河湾は魚介類の宝庫として知られており、穴子類・あさり類の漁獲量は全国一であります。愛知県産を皆さんで食べましょう!!

クラブフォーラム



「ホテルのとびかう人里づくり」

地区環境保全委員会 高橋 豊彦 様



朝倉川育水フォーラム

育水

治水・利水、親水を経て
多様な植物や生き物を宿す水を育むこと。

■ 自然の原風景
思い浮かべる「景色」は、
ひとりひとり全て違う

ある特定の生物(優先種)を考えたときに、その種が生息しやすい環境は異なるし、そこには健全な食物連鎖の存在が必要。

ホタルのとびかう人里づくり

朝倉川というフィールド(流域)で
↓
水源から海までの環境のみでなく生活循環を考える
↓
「川は地球のミニチュアである」

環境問題は、自己完結し得ない問題である。持続可能には経済原理の導入が必要な場合もあるが、経済原理を導入することによって白黒はつきりしなければならないリスクもある。

Ex. 田圃は、生き物の宝庫であるが、「農」というキーワードがかかった瞬間に「益」、「害」という概念が生まれる。

朝倉川ビオトープ 多米



朝倉川ビオトープの全景

止水域

カエル、メダカなど
温度: 高い

流水域

ホタルやカワニナなど
温度: 低い

植樹メンテナンス大会の様子



今年(21年)度は、樹木や生物の実態調査、や名札付けも実施

